

きゅうしゅう

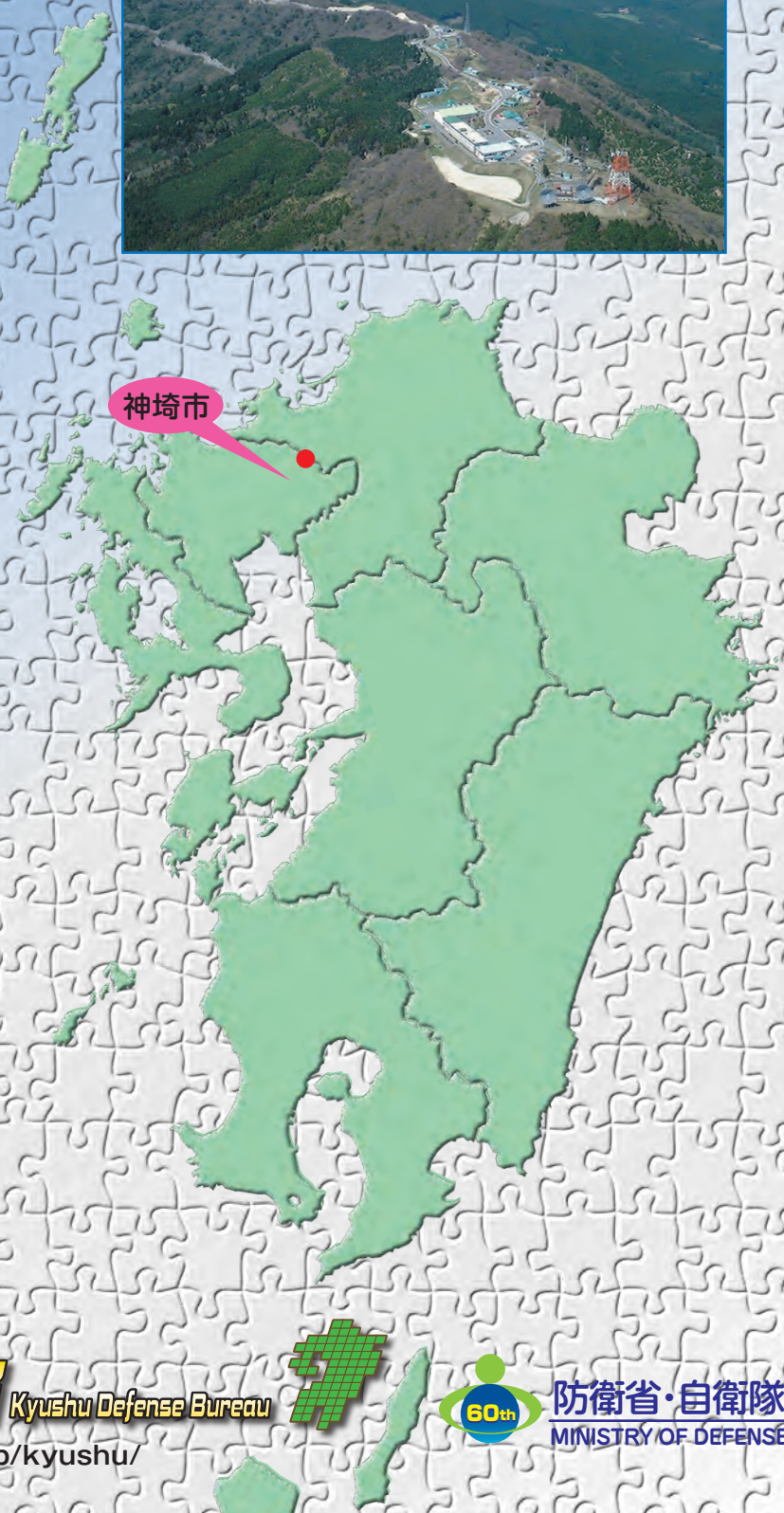
No.28

編集・発行 九州防衛局 総務部 福岡市博多区博多駅東2丁目10-7 福岡第2合同庁舎内 TEL092-483-8811

航空自衛隊背振山分屯基地



九年庵
(佐賀県神埼市)



目次 CONTENTS

- 1 航空自衛隊背振山分屯基地紹介
- 2 自治体紹介～佐賀県神埼市
- 3 九州防衛局業務紹介
- 4 インフォメーション



九州防衛局 Kyushu Defense Bureau

<http://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>



防衛省・自衛隊
MINISTRY OF DEFENSE

1 航空自衛隊背振山分屯基地紹介

分屯基地司令挨拶



第43警戒群司令兼背振山分屯基地司令
2等空佐 松村 和仁
(まつむら かずひと)

九州防衛局広報誌「きゅうしゅう」をご覧の皆様こんにちは。航空自衛隊第43警戒群司令兼ねて背振山分屯基地司令の松村です。今回、誌面をお借りして背振山分屯基地の概要及び所在する部隊の活動状況についてお伝えいたします。

背振山分屯基地は佐賀県に所在する唯一の航空自衛隊の基地として、福岡県との県境である標高約千メートルの背振山頂に佐賀県の神崎市及び神埼郡吉野ヶ里町並びに福岡県福岡市にまたがる形で位置しています(分屯基地の住所は本部庁舎がある神崎市脊振町)。また、分屯基地に勤務する隊員の約8割が福岡県や佐賀県をはじめとする九州出身者で構成されております。

背振山分屯基地の主力は第43警戒群という警戒管制部隊であり、昭和31年に前身の第9041部隊が米軍とともに現在地背振山に展開以降、約60年にわたり「鎮西の眼」として西日本の空を24時間休みなく警戒してまいりました。また、平成11年には、現有の固定式3次元レーダー「J/FPS-3」の改修を行い、以降弾道ミサイルへの対応も実施しております。

その他にも、地对空誘導弾ペトリオットの通信中継を行う部隊等が分屯基地に所在し、日夜訓練や警戒に励んでいます。

当分屯基地は、基地主催行事のみならず、佐賀・福岡両県の地域行事等への積極的な参加を通じた周辺地域の皆様とのつながりを大切にするとともに、国民の皆様から信頼を得られるよう精強な部隊育成に努めてまいります。

分屯基地沿革・組織図

背振山分屯基地の沿革

- 昭和29年 10月15日 第9041部隊、福岡駐屯地で編成
- 昭和31年 8月 1日 脊振山展開、分屯基地開設
- 昭和35年 7月 1日 米軍から空自へ任務移管
- 昭和36年 7月15日 第43警戒群に改編
- 昭和41年 2月 1日 第2高射群新編、指揮所運用隊背振山展開
- 昭和44年 3月26日 バッジ・システム運用開始
- 昭和50年 6月23日 固定式3次元レーダー運用開始
- 平成 1年 1月30日 新バッジ・システム運用開始
- 平成 6年 3月31日 第2高射群改編、指揮所運用隊春日へ移動
中継班、背振山で運用開始
- 平成 9年 5月22日 新固定式3次元レーダー運用開始

組織図

- 西部航空方面隊
 - 西部航空警戒管制団
 - 第43警戒群
 - 群本部
 - 監視管制隊
 - 通信電子隊
 - 基地業務隊
 - 背振山中継班
 - 第2高射群
 - 指揮所運用隊

所在部隊紹介



第43警戒群

監視管制隊

監視管制隊は、国籍不明機や弾道ミサイル等の脅威に対して24時間常続不断的の警戒監視を実施する部隊です。



要撃管制中の隊員



記録及び各機関との調整



管制実施後の分析



監視管制隊隊旗等

通信電子隊

通信電子隊は、主に航空警戒管制レーダーを始め、多重通信装置及び対空無線機等の整備並びに部隊間の指揮管理通信業務等を担任している部隊です。



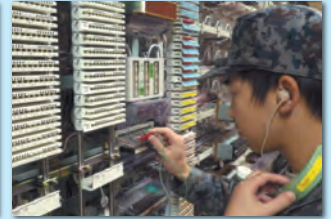
固定3次元レーダー



レーダー整備



対空無線機アンテナ設置



電話回線試験

基地業務隊

基地業務隊は、補給、施設、輸送、警備、厚生、給養等の分屯基地における基地業務を実施する部隊です。



除雪作業



人員輸送



基地警備増強要員訓練



調理及び配食



第2高射群指揮所運用隊背振山中継班

地对空誘導弾パトリオットPAC-3システムの通信回線を構成するために、無線中継装置等を運用し、音声及びデータの無線中継業務を実施しています。



パトリオット射撃(米国)



冬期における訓練



アンテナ展張



背振山中継班

分屯基地開設58周年記念行事



記念行事会場



佐賀県伝統舞踊「面浮立」



西部航空音楽隊ふれあいコンサート



記念行事出席者見送り

広報・地域行事・その他



広報活動(鳥栖市「九州まん祭」)



脊振まるごと運動会(神崎市)



脊振山頂交流会



職場体験学習支援

2 自治体紹介



神崎市マスコットキャラクター
「くねんワン」(左)「くねんニャン」(右)。
神崎市のPRのため、活躍しています。

市長あいさつ



佐賀県神崎市 「自然と歴史と人が 輝く未来都市」

〒842-8601
佐賀県神崎市神崎町神崎410番地
ホームページアドレス：<http://www.city.kanzaki.saga.jp/>



神崎市長 松本 茂幸
(まつもと しげゆき)

神崎市は佐賀県東部地区に位置し、北部には福岡市と境をなす背振山が擁する広大な森林地帯を、南部地区には肥沃な佐賀平野を有しています。また、市の中央部には、背振山に源を発する城原川が南流し、この水系を基盤とした水に育まれた悠久の歴史と自然が息づくまちです。

市内には、全国的に著名な国営吉野ヶ里歴史公園や国名勝九年庵をはじめ古代・中世に形成された皇室領荘園神崎荘や長崎街道神崎宿などの歴史遺産、神崎の地名の起こりを伝える伝承や後鳥羽上皇伝説が伝えられるなど、多くの歴史文化遺産が今に伝えられています。

このような、歴史や地勢の特徴を活かした特産品開発にも取り組んでおり、360年の歴史を持つ『神崎そうめん』の新商品開発や、堀の恵である菱の実を使った『ひしぼうろ』や『菱焼酎』の開発など、神崎の食を多くの方に提供できるよう取り組んでいます。



① 吉野ヶ里歴史公園

当時の施設の復元や発掘物の展示などを通じて、弥生時代を体感できる場を創出し、日本国内はもとより世界への情報発信の拠点とすることを目的に作られました。



② 九年庵

明治時代につくられた佐賀の実業家伊丹弥太郎の別荘と庭園です。9年の歳月をかけて築かれた園内は、モミジなど様々な樹木で彩られています。



③ ひしぼうろと菱焼酎

神崎市内でとれる菱を使って開発した新たな地域ブランドです。

■ 基地との関わり

航空自衛隊背振山分屯基地は、市の北部に所在しています。所属する隊員の方々は、背振町のまるごと運動会やわんぱく祭りなど市のイベントに積極的に参加され、市民との交流を深めています。

また、市で組織している「神崎市防衛協会」との連携を図っており、防衛に関する講演会や基地で行う記念行事の開催など、お互いに協力しながら市民の防衛に関する理解の促進、意識の高揚に努めています。



わんぱくまつりで面浮立(めんぶりゅう)を披露する隊員

3 九州防衛局

地方協力確保事務

- 九州防衛局では、防衛省・自衛隊の施策や活動について、広く地域住民等の皆様にご理解いただくため、防衛白書の説明、防衛問題セミナー、日米交流事業及び自衛隊の活動の写真パネル展などを行っています。
本号では、9月から12月に実施しました防衛問題セミナー、日米交流事業、パネル展を紹介します。

■ 防衛問題セミナー

鹿児島県鹿児島市

～ 第27回防衛問題セミナーを開催 ～

9月30日(火)鹿児島市の「鹿児島市中央公民館」において、第27回防衛問題セミナーを開催しました。

第1部では、防衛省 防衛政策局 防衛政策課 石川課長が、『新たな防衛計画の大綱』をテーマに、「我が国を取り巻く安全保障環境」などを説明し、今後整備される各自衛隊の体制等について紹介しました。

第2部では、陸上自衛隊 西部方面総監部 行政副長 河本陸将補が『西部方面隊の役割』をテーマに、「西部方面隊の概要」などを説明するとともに、特に、西部方面隊としては、水陸両用作戦能力向上のため、米軍との共同訓練等を実施する旨を説明しました。

来場された方々からは、「日本のおかれている防衛問題の現状が理解できた。」、「わかりやすい説明で勉強になった。」などの感想が寄せられ、好評をいただきました。



■ 日米交流事業

長崎県佐世保市

～ 日米交流 in 佐世保2014を開催 ～



10月25日(土)、長崎県佐世保市の米海軍佐世保基地体育館において、九州防衛局主催の日米交流事業『日米交流 in 佐世保2014』を開催しました。

当日は、佐世保市立祇園小学校、金比良小学校、西海市立西海東小学校と米海軍佐世保基地の小学生約120名が集まり、参加者全員で各種競技を実施しました。

1種目めは、全員参加の玉入れが行われ、初めのうちはお互いに緊張していた日米の子供たちも少しずつ打ち解け、3種目めの3人4脚レースでは、息の合った走りが見られました。

昼食時には、ホットドッグやおにぎり等を食べながら交流し、日本の伝統文化「餅つき」のコーナーでは、日米の子供たちが一生懸命「杵」を持ち上げ、餅つきを体験しました。昼食の後は、保護者参加の「買い物バトル」や全員参加の「綱引き」などが行われ、白熱した戦いが繰り広げられ、親子共々楽しまれていました。最後に日米双方によるプレゼント交換が行われ、参加した子供たちからは、『色々な人と話せてよかった』、『次回のイベントが待てないよ！』などの感想が聞かれ、日米の子供たちの交流を深めることができました。

業務紹介

■ 九州防衛局「パネル展」

航空自衛隊 芦屋基地・築城基地・新田原基地

～ 九州各地の航空祭においてパネル展を開催 ～



■ 九州防衛局のブース



■ ペーパークラフトの展示



■ DVDの上映



■ ブルーインパルスパイロットの顔出し看板

11月中旬から12月上旬の九州各地の航空祭において、防衛省・自衛隊の施策に関する広報のため、格納庫内の一角にブースを設け、写真パネルによる防衛白書の説明や防衛局の業務紹介、広報誌等の配布、「わが国を守るために！～防衛省・自衛隊の国を守る任務と活動～」のDVD上映などを行いました。

また、F-2やF-15戦闘機などのペーパークラフトの展示を行うとともに、クイズに正解した子供たちへのペーパークラフトのプレゼントを行い、更にはブルーインパルスパイロットの顔出し看板などを設置しました。

多くの方が当局ブースを訪れ、防衛省・自衛隊の施策や活動などについて理解を深めていただきました。

九州防衛局では、航空祭などにおいて、ブースを設ける予定ですので、是非、お立ち寄りください。

防衛問題セミナー・日米交流事業・パネル展の詳細につきましては九州防衛局のホームページをご覧ください。 <http://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>

■ 防衛白書説明

～ 平成26年版 防衛白書を地方公共団体等へ説明 ～



山崎福岡県副知事（写真手前右）への説明



河野宮崎県知事（写真中央）への説明

防衛白書は、わが国の防衛の基本について国民の理解を深めるため毎年刊行しているもので、今年8月に刊行された平成26年版で40回目になります。

九州防衛局では、平成26年版防衛白書について、防衛省・自衛隊に対する理解を深めていただき、防衛省・自衛隊と地方公共団体等との連携強化を図ることを目的として、地方協力本部及び各部隊と連携し、九州各地の地方自治体等に説明を実施しています。

なお、防衛白書については、市販されているほか、防衛省のホームページにも掲載しておりますので、ぜひ御覧ください。

防衛省ホームページ

<http://www.mod.go.jp/j/publication/wp/index.html> (パソコン版)

スマートフォン向けダイジェスト版

<http://www.mod.go.jp/sp/j/publication/wp/wp2014/sp/index.html>

スマートフォン向けのダイジェスト版は、スマートフォンのカメラで左のQRコードを読み取るか、QRコードをタップしてアクセスしてください。

(PCでアクセスしても正しく表示されません。)



4 インフォメーション

平成26年度感謝状贈呈

防衛大臣感謝状贈呈



米満 湧水町長(左)

九州防衛局長感謝状贈呈



朝倉 玖珠町長(右)



井上 みやこ町長(右)



村岡 えびの市長(左)



武元 福山町漁協組合長(右)

～ 防衛大臣感謝状 ～

平成26年10月25日、平成26年度防衛大臣感謝状贈呈式(ホテルグランドヒル市ヶ谷:東京都新宿区)が開催され、式に出席された米満重満湧水町長に、江渡防衛大臣から感謝状が贈呈されました。

これは同氏が、永きにわたり陸上自衛隊霧島演習場の安定的使用に積極的に協力されたことに対し感謝の意を表するものです。

～ 九州防衛局長感謝状 ～

平成26年11月1日付けで、大分県玖珠町長 朝倉浩平氏、福岡県みやこ町長 井上幸春氏、宮崎県えびの市長 村岡隆明氏及び鹿児島県福山町漁協組合長 武元明吉氏に対して、それぞれ樋道明宏九州防衛局長から感謝状を贈呈いたしました。

朝倉玖珠町長は陸上自衛隊日出生台演習場、井上みやこ町長は築城飛行場、村岡えびの市長は霧島演習場等、武元福山町漁協組合長は鹿児島湾水中試験海面の安定的使用に多大な貢献をされてこられました。

これまでの御功績に対し、当局の深い感謝の意を表するものです。

平成26年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式



10月21日、米海軍佐世保基地「ハーバービュークラブ」において、佐世保地区に所在する米軍施設で勤務する従業員の永年勤続者表彰式が行われました。

この表彰式は、永きにわたり勤務された在日米軍従業員に対し、その労をねぎらうとともに労働意欲及び作業能率の向上を図ることを目的として日米が共同で主催したものです。

来賓として長崎県を始め、佐世保市及び西海市を代表する方々にご臨席いただき、荘厳な雰囲気の中、滞りなく行われました。

今年度は勤続年数30年、20年、10年の合わせて164名の方々が表彰されました。

九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

夜間及び休日の連絡先

電話:(092)483-8832 FAX:(092)472-1959

- ・平日は17時15分から翌朝8時30分まで、休日は終日。
 - ・上記以外の時間帯は各課室直通電話へご連絡下さい。
- <http://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>

ご意見・ご感想

TEL092-483-8813

mail: info@kyushu.rdb.mod.go.jp